

兒には「大きい」とか「きれい」とか云ふ看念は、  
 わからぬ不思議な形容詞のために、其意義を曖昧  
 にされて、しまいます。そして遂には、話の全体  
 が明瞭に把握されないで、極めて断片的になつて  
 しまいます。さて斯様に言葉の種類に、氣を付け  
 て、其子供相當の言葉のみを用ひて話す様にする  
 と、言葉の敷は自然限られて來て、速言葉で澤山  
 云ふ必要もなければ、忙がしいせわしい話振をし  
 て、せかしくした風を見せる必要もないのです。

雜 報

在佐賀の知入より、左の募集廣告を贈りぬ。一年の計は元旦に  
 在り、年の始に當りて貯金の勘の歌の想を練ると共に、其方法  
 にも思なめぐらすに至らば、よし一等賞の金側時計を得る能は  
 んにしても、今年一年の家政の上に確に損にはならざるべし、  
 若し夫れ幸に選に當りたらんには、重ねくの利得ともなるべ  
 しと云爾

(記 者)

懸賞募集廣告

- 一題、貯金の勸め歌
- 一文體 新體詩
- 一字数 貳百四十字以内
- 一締切期限 明治三十九年一月末日
- 一賞品
  - 一等 金側懷中時計 壹箇
  - 二等 銀側懷中時計 壹箇
  - 三等 据 時計 壹箇
- 一懸賞當撰の歌は斯道知名の士に作譜を請ひ唱歌  
 として一般貯蓄思想涵養の資料に供すべし
- 一答案は肥前唐津郵便局内山村直太宛の事  
 但答案接受の上は即時領收の證を發す
- 一當撰發表は締切期限より二ヶ月以内とす

明治廿八年十月廿三日

肥前唐津郵便局長 山村 直太

●參 考

貯金新金言懸賞募集當撰披露

過般貯金新金言懸賞募集の處應募總數四千三百二十五通に達し其撰擇方を法學士石橋忍月君法學士川村竹治君文學士三根圓次郎君に依頼せしに左の通り撰擇せられたり

明治廿六年五月十五日

唐津郵便局 山村 直太

壹等賞

取る思案より使はぬ思案

佐賀縣神埼町 松 尾 正君

貳等賞

貯金の金として別には無ぞ

佐賀縣三養基郡基山小學校 島 たら子君

參等賞

溜めて溜らぬためしなし

群馬縣佐波郡豐受小學校 佐々木 清松君

貯金は義理の借金と思へ

佐賀縣西松浦郡波多津村 天野 房太郎君

多く取るより少しく殘せ

長崎縣西彼杵郡三重村 東 清 七君

貯金の家に饑饉なし

佐賀縣神埼郡千歳小學校 深川 忠次君

五厘の切手も積めば千兩の手形なり

長崎縣股原田淵町 土井 春兩君

神戸通信

神戸市神戸訓盲院 平 岩 繁 治

一 細民と授産場。神戸市には、随分貧民が多い、

此れ等の細民の多くは、適當な職業もなく、

只落葉木片等を捨取るに止まる者もあつて、

自然不良の徒を出す恐れがあるので、其の當路

者も、種々心配しつゝあるのですが、此のまま

で何時までも、等閑に看過したならば、彼等と

一般市民との、上下の區別は、甚だしくなるのであらうと、思はれるのである、従つて此れ等細民兒童の爲めに、學校の設備も、到底完全望むことが、出来ないもので、新に授産場を設けて、市の救恤部が、其の經營の任に、當るとの事である、斯様にしたならば、漸次思はしくない風習も、矯正することが、出来るであらうと思はれる。

一 兒童保育所の將來。此れは出征軍人遺族の子供を集めて、保育して居る所である、此の事業は、神戸市婦人奉公會の附屬事業であるから、奉公會と運命を共にすべき者であるが、尙ほ出征軍人及び一部労働者のために、此の事業繼續の必要があるので、當局者に於ても、夫れ／＼調査中の由なるが、經費の都合で、數箇所位は、

存置するとの事である。斯る事業は、文明國の花であるから、余等は是非共、其の存置を望むと共に、尙ほ益々多數の細民兒童保育所の設立を祈るのである。

一 圖書館設立音樂會。十一月二日神戸女學院の生徒が、學校内に圖書館を設立せんとて、其の

基本金を募る爲めに、企てられたのである。別に、新曲と云ふ様な者はなかつたけれ共、女學生の企てとしては、結構であつた。

一 盲啞の子供と普通の子供。東京に遊學中も、感じた事であるが、普通の子供は、不具可憐な不幸なる盲啞の子供を見ると、一段下つた、虫けらでも見るが如く、卑んで居つて、或は馬鹿にしたり、或は顔つきをしたり、手つきをしたりします。尙ほ甚だしきに至つては、悪口をさ

いたり、邪魔をしたりして、迷惑を掛ける場合が、少くはないのである。東京と比較して見ると、我が神戸市の方か、一層であると思ふ。これは只に子供が悪いのみならず、一つには教育の不完全を、示してゐるのであるから、小學校教員の責任も、ないとはいはれないのである、特に此等兒童の不徳を、矯正するので、幼稚園時代が尤も適當であると思ふ、幼稚園時代の子供は、人間の一生中一番同情心にも富んでゐるし、又愛の力も強い時であるから、此の期を逸さず心を用ひて、盲啞に對する同情心や、愛の恵みの心を養成し、博愛仁義の道にもふとらぬ様、保育の上に注意を望むのが、尤も有効な矯正法であると思ふ。

一 日英同盟と婦人

先に日英新同盟を發表され

ると、間もなく英國東洋艦隊は、先頭第一に我が神戸港を訪問した。其の時水兵は朝から晩まで、何回か上陸して市中を、残す限なく散歩した、其の時尤も多く感じた事は、婦人の服装であつた。なごき袖を指示して、彼の袋は何にするのであるか、又何をいれるのだと、皆問ふたのである。其の説明を聞いても、容易に了解が出來ないで、不思議に思ふて居た、なぜあんなに重もたそ—な邪魔なものをぶる下げて居るのだろ—と、首をかたげて見つめて居たと云ふことである。

一 日英同盟と子供

子供でも英國の富強の有様は知つて居るので、各學校で日英同盟のお話を聞いて、よき親類を持つたといつて悦んだ、其の

影響で第一に英國旗の形から其の作り方まで、幼稚園の様なきと子供までが、すつかりふばへた。又其國旗を皆持參して居て、英國人に出逢ふと、萬歳といつて、渡すのを、非常に喜んで居た、英水兵も萬悦の顔つきで、大きな口と手とを開き、或はわけて禮をして貰つたのである、而して子供は外國人に對する親密の情や、尊敬の心を、知らず、數日間に學び得たのである。斯の如く子供の得た知識は、一二に止まらずして、莫大の者であつたと思ふ。(一一九)

新刊紹介

「明治の婦人」(月一回發行一冊八錢)

實用的才能に尙るに穩健なる美的修養を以つてするもの、これ即ち現代が要求する婦人の資格なり。「明治の婦人」此要求に應じ

て、現代に處さむんとする婦人の好侶伴たらん事を期す」とは、記者の標榜する所にして、文學的材料と、家事的材料とを混合し、率ゆるに倫理的思想を以てしたる精神的ハイカラ雜誌なり女學校を卒業して、理想的家庭を作り、若くば作らんとしつゝある婦人は、座右の伴侶として樂しからん。東京四谷内藤町一番地明治婦人社。

會報

明治三十八年十二月九日午後一時半女子高等師範學校附屬幼稚園に於て本會第三十九常會を開く、出席者七十餘名、野口幹事の開會の辭、女子高等師範學校教授岡田みつ子君の米國ウエレスレーの或三家庭に付ての演説、中村主幹よりは本會より文部省へ幼稚園に關する建議案に付ての協議、研究組合日本橋區及麹町區の報告等あり、茶菓を供して隨意談話に移り午後四時半散會したり、

入會

東京府立女子師範學校附屬幼稚園  
女子高等師範學校附屬幼稚園

右雨森劍兵紹介

女子高等師範學校

鹿兒島縣揖宿郡頰娃村上別府新牧

福島縣耶麻郡關柴村平林

兵庫縣武庫郡魚崎一五八

久保みつ  
大關とよ

高橋はま

山下なせ

宇津木さよ

手塚芳子